

## 見たくないことを見て 必ずくる南海トラフ地震を乗り越える

平成の30年間は、昭和後半の30年間に比べ、西日本での被害地震を多く経験した。今後30年間の地震発生確率が70~80%と言われる南海トラフ地震の準備過程とも言える。九州での火山活動も活発である。いずれもフィリピン海プレートの沈み込みに関わる。日本の歴史形成と南海トラフ地震との関係、相互依存度の高い高機能化した社会の問題などを通し、南海トラフ地震の被害像をあぶり出し、今後の対策のあり方について考える。

**日程**

2019年12月10日(火)

受付13:00~

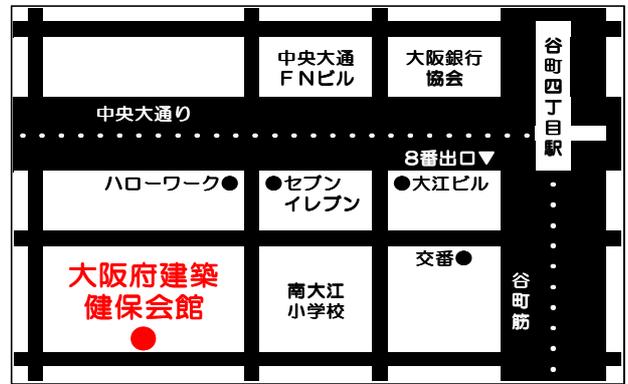
講習13:25~16:30

**会場**

大阪府建築健保会館 6階ホール

大阪市中央区和泉町2-1-11

地下鉄谷町四丁目8番出口、徒歩10分



**内容**

※一部変更となる場合がありますので予めご了承ください。

13:25~13:30	ご挨拶及び連絡事項	
13:30~16:30 (途中10分休憩)	<p>1、歴史に学ばず現実を直視できない南海トラフ地震対策の現状</p> <p>繰り返す南海トラフ地震、前後の地震の活動期による歴史の転換期、ホンネで語らず本質を見なくなった相互依存の高機能社会、確実に経験する南海トラフ地震にどう立ち向かうか、コンパクト+ネットワークで自律・分散・協調型の国土について考えてみる。</p>	<p>講師 福和 伸夫                  名古屋大学減災連携研究センター                  教授・センター長</p> 
	<p>2、建築耐震基準の不具合とバリューエンジニアリングの危さ</p> <p>新耐震基準導入から40年、科学的知見や地震被害を反映できていない現在の耐震設計。VEでコストカット重視の現場。「彼を知り己を知れば百戦殆うからず」で、「強無くして用無し、用無くして美無し、美無くして建築ではない」を取り戻したい。</p>	

**受講料**

建築士会会員: 3,500円 後援団体会員: 4,500円 一般: 5,500円 (消費税込み)

※建築士会の賛助会員企業にご所属の方は、入会口数1口につき1名様を建築士会会員受講料とさせていただきます。

**定員**

120名(申込先着順)

## 申込方法

予約ページQRコード



WEB申込の場合	FAX申込の場合
①下記の国会予約ページにて、本講習会の予約ボタンをクリックしてください。 <a href="https://www.aba-osakafu.or.jp/reserve/">https://www.aba-osakafu.or.jp/reserve/</a>	①下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、国会までご送信ください。
②申込様式に必要事項を入力のうえ送信後、予約票が自動返信されます。	②国会受付後、予約票を返信いたします。
③予約票の受信から1週間以内に受講料を指定の金融機関口座へお振込みください。 ※金融機関口座は予約票にてご案内いたします。 ※金融機関の払込済票を国会領収書に代えさせていただきます。 ※お振込み後の受講料は返金いたしません（当日欠席された場合も同様です）。	
④お振込み確認後に受講票を返信いたしますので、講習会当日に必ずご持参ください。 講習会の1週間前までに受講票が届かない場合は国会までご連絡ください。	

## 申込先

公益社団法人大阪府建築士会 事務局  
〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17高田屋大手前ビル5階  
TEL：06-6947-1961 FAX：06-6943-7103

## 見たくないことを見て 必ずくる南海トラフ地震を乗り越える

フリガナ		生年月日	大・昭・平	年	月	日
氏名		所属団体 ・会員No. <small>注1)</small>	団体名：		会員No.：	
勤務先		所属 部課名				
連絡先 <small>注2)</small>	〒					
	TEL		FAX			
	E-mail					
受講料 <small>注3)</small>	<input type="checkbox"/> 建築士会会員：3,500円 <input type="checkbox"/> 後援団体会員：4,500円 <input type="checkbox"/> 一般：5,500円					
注1) 建築士会会員ならびに後援団体会員の方は、必ず所属団体名と会員No.をご記入ください。 注2) 連絡先は自宅か勤務先のいずれかをご記入ください。 注3) 受講料はいずれかに✓をご記入ください。 建築士会の賛助会員企業にご所属の方は、入会口数1口につき1名様を建築士会会員受講料とさせていただきます。 ※ご記入いただいた内容は、本講習会の運営と今後のご案内にのみ使用させていただきます。						